

令和3年度第5回岡崎市交通政策会議 会議録

1 開催及び閉会に関する事項

令和4年2月21日(月) 14時00分～16時00分

2 開催場所

岡崎市役所東庁舎7階701号室(Zoomによるweb参加を併用して開催)

3 席委員及び欠席委員の氏名

(1) 出席委員(16名) (会議室10名、web6名)

- | | | | |
|-----|----|----|------------------------------|
| 伊豆原 | 浩二 | 委員 | (まちづくりの達人ネットワーク 理事長) |
| 松本 | 幸正 | 委員 | (名城大学 教授) web |
| 中嶋 | 久 | 委員 | (名古屋鉄道(株) 東部支配人室 営業総務課長) web |
| 寺澤 | 秀樹 | 委員 | (愛知環状鉄道(株) 運輸部 次長) web |
| 大野 | 淳 | 委員 | (名鉄バス(株) 運行部 運行課長) web |
| | | | ※加藤氏 代理出席 |
| 玉置 | 文博 | 委員 | (名鉄東部交通(株) 取締役路線バス事業部長) web |
| 鋤柄 | 徹 | 委員 | (愛知県タクシー協会岡崎支部支部長(名鉄岡崎タクシー)) |
| 小林 | 裕之 | 委員 | ((公社)愛知県バス協会 専務理事) |
| | | | ※徳田 裕二 事務局長 代理出席 |
| 中村 | 彰宏 | 委員 | (愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事) web |
| 長坂 | 秀志 | 委員 | (岡崎市総代会連絡協議会 会長) |
| 加賀 | 時男 | 委員 | (岡崎市障がい者福祉団体連合会 会長) |
| 鷺山 | 幸男 | 委員 | (岡崎市老人クラブ連合会 会長) |
| 萩原 | 幸二 | 委員 | (岡崎市六ツ美商工会 会長) |
| | | | ※小林 昭彦 事務局長 代理出席 |
| 山内 | 三奈 | 委員 | (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官) |
| | | | ※鈴木 隆史 首席運輸企画専門官 代理出席 |
| 澤木 | 徹 | 委員 | (愛知県 都市整備局 交通対策課 担当課長) |
| | | | ※石川貴康 課長補佐 代理出席 |
| 山本 | 公德 | 委員 | (岡崎市 副市長) |
- #### (2) 欠席委員(5名)
- | | | | |
|----|----|----|----------------------------|
| 前山 | 敏昭 | 委員 | (岡崎商工会議所 交通部 会長) |
| 鈴木 | 勝彦 | 委員 | (額田地域生活交通協議会) |
| 石井 | 信 | 委員 | (国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課長) |

伊熊 竜彦 委員（愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長）
稲吉 昌志 委員（愛知県警察 岡崎警察署 交通課長）

4 説明等のため出席した事務局職員の職氏名

永田 優（総合政策部長）、香村 尚将（総合政策部次長）、
鈴木 浩文（地域創生課副課長）、都築 哲男（主任主査）、
細野 雅人（主任主査）、川内 良祐（主事）、徳原 誉人（主事）

5 議題

(1) 地域公共交通計画について

地域公共交通計画について、資料1により説明された。

<以下、各委員の意見等>

会 長： 資料1に関して、ご意見等いただけたらと思うがいかがか。

副会長： 修正箇所第2点の計画の推進体制について、市民と市民活動団体の考え方を教えていただきたい。

事務局： 岡崎市在住の市民のみで構成された活動団体を市民としており、岡崎市に在住していない方も参加して構成された活動団体を市民活動団体としている。

副会長： 岡崎市に在住していない方も参加して構成された活動団体について別の名称はないのか。また、NPO等についてはどちらに該当するのか。

事務局： 岡崎市内で公益活動を行っている団体を市民活動団体としているため、他の名称はない。NPO等も市民活動団体に含まれると考えている。

副会長： 了解した。

会 長： 計画については了解したということでよいか。

一 同： 了解した。

(2) チョイソコおかざき現状報告について

チョイソコおかざきの現状報告について、資料2により説明された。

<以下、各委員の意見等>

委 員： チョイソコ岡崎の利用客について、令和2年10月から令和3年11月の1年以上の間、トップだったドミー福岡店が直近2ヶ月でランク外となった要因は何か。

事務局： ドミー福岡店を利用していたヘビーユーザーの方が利用されなくなった

ため、利用客が減少している。

会長： 高齢者は手が乾燥するため、特に冬場はスマホが反応しにくく、誤作動する経験がよくある。自宅から電話での予約は問題はないが、外出先でインターネットで予約する場合は躊躇することが起こりうると思う。そういった高齢者特有の事情も含めて使いやすさをPRするなど気を配ってほしいと思う。

委員： P6の予約不成立状況について、直近2ヶ月で変わったことがあれば教えてほしい。特に、予約した区間がバス路線と重複する区間であるため、バス路線の方へ利用をお願いした事例などはあるのか。

事務局： 直近2ヶ月では12月9日の予約過多による予約不成立が発生しているのみである。

委員： 了解した。名鉄東部交通バス路線への乗り継ぎについては、どこかで把握をしているのか。

事務局： チョイソコ岡崎と名鉄東部交通バス路線との乗継についてはP7に掲載しており、12月は2件、1月は0件の乗り継ぎとなっている。今後も乗り継ぎ割引については周知を行い、名鉄東部交通のバス路線の活性化に寄与したいと考えている。

副会長： お出かけイベントの開催については感染症対策を十分に行いながら、引き続き実施していただきたいと考えている。名鉄東部交通との乗り継ぎについては少ないという現状であることから、次回以降のイベントについては、名鉄東部交通のバス路線へ乗り継いで参加するようなイベントに取り組んでほしい。会長からの高齢者のスマホの件については、携帯会社に対応していただけると良いと思う。スマホ利用に関しては、フィードバックも可能になると考えており、先行順による予約だけでなく、予約内容から乗合率を高めるように時間を伝えるなど運用方法も変えられると思うが、そこに向けた検討は行っているのか。また、そういった仕組みになっているのか。

事務局： 電話による予約でも、スマホによる予約でも問題なく、乗合予約ができている状況であるため、運用については特段問題はないと考えている。

副会長： 現在問題かというよりも、より効率を高めた配車が可能になるという話である。それがスマホ予約やAI予約につながる。

事務局： 効率は高めることはできると考えているものの、利用状況としてそこまでの段階には至っていないため、効率化を図る検討は進めておらず、利用促進を促している。

副会長： 今後の利用状況を見据えて検討をしていかなければならない。(株)アイシンの知見も生かしながら、行政としてより効率的な予約を考えていく必要があるのではないか。

事務局： 今の運用状況として、効率的とは言えない状況であるため、行政として今後の課題として認識し、検討を進めていきたいと考えている。

副会長： 予約の不成立状況が発生していることから、運用面での課題は残っていると思う。

事務局： 今後の課題として取り組んでいきたい。

会長： 利用離反者が多いことや予約不成立の話があると、信頼感がなくなっていくことになりかねない。配車の仕組みを上手に活用するなどの努力が必要であり、不成立とならないための検討をする姿が必要ではないか。そういったこともふまえ検討材料にすることが大切だと思う。

副会長： 利用者視点での評価を行政として確認しながら、改善すべき点についてはぜひ取り組んでほしい。

事務局： 承知した。

委員： チョイソコ通信で、色々なイベント情報を掲載しているが、チョイソコおかざきの利用の多い目的地を理由を踏まえて情報を載せることで、会員の未利用者方への動機づけにつながるのではないかと思う。チョイソコ通信の掲載方法を工夫すると良いのではないか。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、資料3により説明された。

<以下、各委員の意見等>

副会長： 本来は協議会で承認した結果を後ほど変更することは決して望ましくはないと思う。今回は色々な状況があったため変更したことは理解しているが、今後は評価の内容等の大きな変更は避けていただきたい。

事務局： 事務局の方で評価を変更したことについては十分反省している。今後は書面決議等を実施して修正したいと考えている。

(4) 矢作地区における路線バス再編について

矢作地区における路線バス再編について、資料4により説明された。

<以下、各委員の意見等>

- 委員： 乗り換え場について中伝馬と記載しているが、籠田公園前等の降りた場所で乗り換えができる場所を選んだ方がいいのではないか。
- 委員： バス路線の系統自体はそのまま、運行本数の変更を行ったという理解で良いか。今回の変更で、バス停の廃止等を伴うか確認したい。
- 委員： 停留所や路線の廃止はなく、運行本数の変更のみである。
- 会長： 今回の再編については、どのような方法で市民へ周知するのか。
- 委員： 今回の再編は大きな変更であるため、矢作地区を中心にチラシの配布を行い周知しようと考えている。チラシについては、岡崎市と協力し回覧板等で周知したいと考えている。
- 会長： 乗り継ぎができる箇所については、矢作地区だけではないと思う。
- 委員： バス車内や主要駅である東岡崎駅や矢作橋駅等で情報を掲示する予定である。
- 会長： 現在利用している方が使えなくなるのが気になる。今利用している方に対して上手に説明し、PRして行ってほしい。
- 委員： 承知した。
- 委員： 乗り継ぎのバス停に関してもう少し情報をお願いしたい。
- 委員： 中伝馬のバス停だと降りるバス停と乗るバス停が異なるが、籠田公園であれば同じバス停で乗り継ぐことができるため、そちらで周知していただきたい。
- 会長： 市民病院へ向かう路線については現在何人の利用があるのか。
- 委員： 中伝馬を越えた利用については、一日当たり14名いる。これは、OD調査の結果であり、1日11本運行しているため、1本あたり1.3名の利用があり、市民病院が主な目的地である。
- 会長： 市民病院でも周知を行う必要があると思う。
- 委員： その予定である。
- 委員： 今までは直行で行けたが、乗り換えが必要になるので、病院へ通院している方に対しては大変なことである。また、乗り継ぐバス停に屋根等があればいいが、なければ大変だと思うため考慮して頂きたいと思う。
- 委員： 承知した。
- 委員： 籠田公園前と康生町のバス停については、バスロケ対応の停留所であり、運行状況が表示されるバス停であるため、適切なバス停だと思う。しかし

ながら、籠田公園の市民病院行きのバス停には屋根がなかったと思うが、康生町のバス停には屋根があるため、利用者に対して適切なバス停を案内したいと考えている。

委員： バス内のアナウンスで乗り換えの方法を放送してほしいと思う。

会長： 再編までには2か月を切っているため、ぜひ情報の周知をお願いしたい。目で見える情報だけでなく耳で聞く情報も検討してほしい。

副会長： 乗り継ぎが必要となった場合でも、乗り継ぎバス停の環境の整備やダイヤの調整を行い、サービス水準が上がれば利用者に受け入れてもらえると思う。しかし、実際は運賃が上がることについても案内する必要があると思う。

委員： 金額は増えてしまうので、そちらも含めて利用者に情報提供していきたいと思っている。

副会長： 日本の運賃制度ではなかなか難しいことではあるが、再編等により利用者に不利益が発生することは避けたいことである。ゾーン運賃制度などがいずれ実現していけばいいと思う。

会長： 再編による利用者の変化については確認をお願いしたいと思う。

(5) その他について

委員： チョイソコおかざきの予約アプリについて説明してほしい。

事務局： 次回の協議会で画面等で表示をしながら説明させていただきたい。

委員： チョイソコおかざきの予約不成立については予約過多となっているが、具体的な中身を確認しないと対応が不明であるため、今後はより具体的な検討が必要ではないか。

委員： 予約不成立となっている日はイベントの開催日であるため、想定以上の申し込みがあったのではないかと思っている。利用促進のために開催したイベントで予約過多となるのは本末転倒であるため、検討をしていただきたい。

事務局： イベントの開催により予約の混雑が発生し、予約過多という状況になっている。今後の課題として検討したいと思っている。